結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2939番
（公）043（222）7207番
2000.3.21 No.5105

2000年春闘 第一波スト を全力で闘いぬこう！

動労千葉総決起集会に全力結集を

蘇我勤労市民プラザ 18時から

全組合員の皆さん、三月二十三日の第一波ストライキに全力でたちあがろう。十五日から始まった金属大手の回答は、軒並み昨年を下回り「ベアゼロ」が相次いでる。大リストラ攻撃の中で何千人、何万人規模で首を切られ賃金さえも引き下げられようとしている時労働組合こそがその先頭で闘わなければならない。大幅賃上げ獲得ー貨物超低額回答打破、定年延長ー五十五才以上の労働条件改善、そして組織拡大に向けて全組合員の総決起を勝ち取ろう。

春闘をめぐる情勢

十五日の自動車、電機、造船重機、鉄鋼の金属大手の回答は平均で定昇込み2・1％の過去最低水準、額でも七千円前後になると見られている。造船重機もNTTも「ベアゼロ」でその他もベアの上限が「五百円」に押さえ込まれている。私鉄大手の交渉も最低の水準といわれるような回答が示され、組合側もこれをうけいれようとしている。鉄鋼は復数年協定のため二〇〇〇年、二〇〇一年度の二年間でベアは千円である。

完全失業率は戦後最悪の状態を長期間にわたって維持し、失業者は三〇〇万人を越え、有効求人倍率は〇・五を割るという状況だ。小渕政権は、産業再生法、民事再生法の制定をもってさらなる国家的大リストラ攻撃を進めようとしている。これは、リストラ・首切りを政府が公認してしかも公的資金を注入し、過剰設備の廃棄、会社分割ー営業譲渡や倒産・再建が自由にできるようにし、一緒にそこで働労働者をスクラップとともに首を切ろうとするものである。

今国会には雇用保険法の改悪案が上程され、年金や医療制度など社会保障制度の抜本的改悪案の上程も画策されている。介護保険もこの四月導入が予定されており、まさに労働者の雇用・権利・生活のすべてが破壊されようとしている。

一方連合の二〇〇〇年春闘方針は「ベア一％以上」という史上最低の要求額にし、明確にワークシェアリング＝賃下げ容認へと舵を切っている。二〇〇〇年春闘は、連合と資本が一体となって賃上げどころか賃下げを労働者に強制する場になろうとしている。こうした状況を打ち破るためにもわれわれは全力で二波のストライキを打ち抜かなければならない。

二〇〇〇年春闘の課題

第一の課題は、JR貨物の超低額・格差回答を打破することである。JR貨物は「ベアゼロ」を公言し国鉄分割・民営化が招いた構造的矛盾、経営破たんの一切を労働者に押しつけようとしている。現在の国家的大リストラ攻撃こそ国鉄分割・民営化に始まるものである。

第二の課題は、定年延長の実現に向けて全力で闘いを展開することだ。JR東日本は、企業の社会的責任を放棄し、定年延長を一切拒否している。そればかりか「シニア制度」と鉄道業務の全面外注化をワンセットにし、この協定を締結しない組合に所属している者は関連会社への再雇用の機会を与えないとするなど、定年延長問題を組織破壊攻撃と大合理化推進の道具にしようとしている。JR貨物は動労総連合の定年延長要求に関して、未だ全く回答していない。

第三の課題は、一〇四七名の解雇撤回、不当労働行為根絶の国鉄闘争勝利に向けた重要な闘いとして闘いぬくことである。

第四の課題は、産業再生法、民事再生法などのもとで吹き荒れる大リストラ攻撃や年金制度改悪、介護保険の導入などの社会保障制度の解体攻撃が吹き荒れている。さらに有事立法制定や改憲が俎上にのぼるというなかで労働運動の在り方そのものを問う闘いとして闘うことである。

第五の課題は、春闘の過程を通して以上の課題の組織的集約としてJR総連解体・組織拡大の闘いの総決起することである。

JR東労組・革マルは、シニア制度の修正提案をうけるや即日妥結した。定年延長問題はこの春闘の過程で議論に上り、各企業では年金支払い年令に合わせて延長しようとしている。「関連企業への再雇用の斡旋」などというやり方で問題をすり替えているのはJR東日本だけだ。

二〇〇〇年春闘勝利第一波ストライキを打ち抜き、大幅賃上げ獲得、定年延長実現、組織拡大をかちとろう。

3・26三里塚現地集会へ！

三里塚から未来をひらこう

政府は、新ガイドライン体制（戦争体制）の中で、成田空港を侵略戦争の一大拠点にすることを明らかにしている。また、米軍は、成田空港を「重要な基地であり、絶対に必要な空港」と公言してはばからない。

こうした情勢の中で空港公団は、暫定滑走路建設にともなう東峰地区の生活を破壊する道路工事を、四月に着工することを発表した。

現地は風雲急を告げている。

しかし、反対同盟は、「脅しに負ける同盟じゃない」と腹をすえて迎え撃つ決意を固め、三・二六全国集会への大結集を訴えている。

われわれは、反対同盟の決意に応え、労農連帯を一層強めるために三・二六三里塚に集まろう。

三・二六三里塚現地集会
とき　三月二六日（日）正午から
ところ　成田市天神峰・市東さん所有の畑
集合　JR成田駅改札口前　一〇時三〇分
全力で結集しよう！